

広報ぬまた

Numata 11

2017.11.24
Vol.614



11/7

いただきファームでの餅つき体験

特集

『JR 留萌本線』について

今月号では、地域の大切な公共交通機関である JR 留萌本線について、現在までの JR 北海道の考え方や北空知の動き、町で実施しましたアンケート調査の結果についてお知らせいたします。

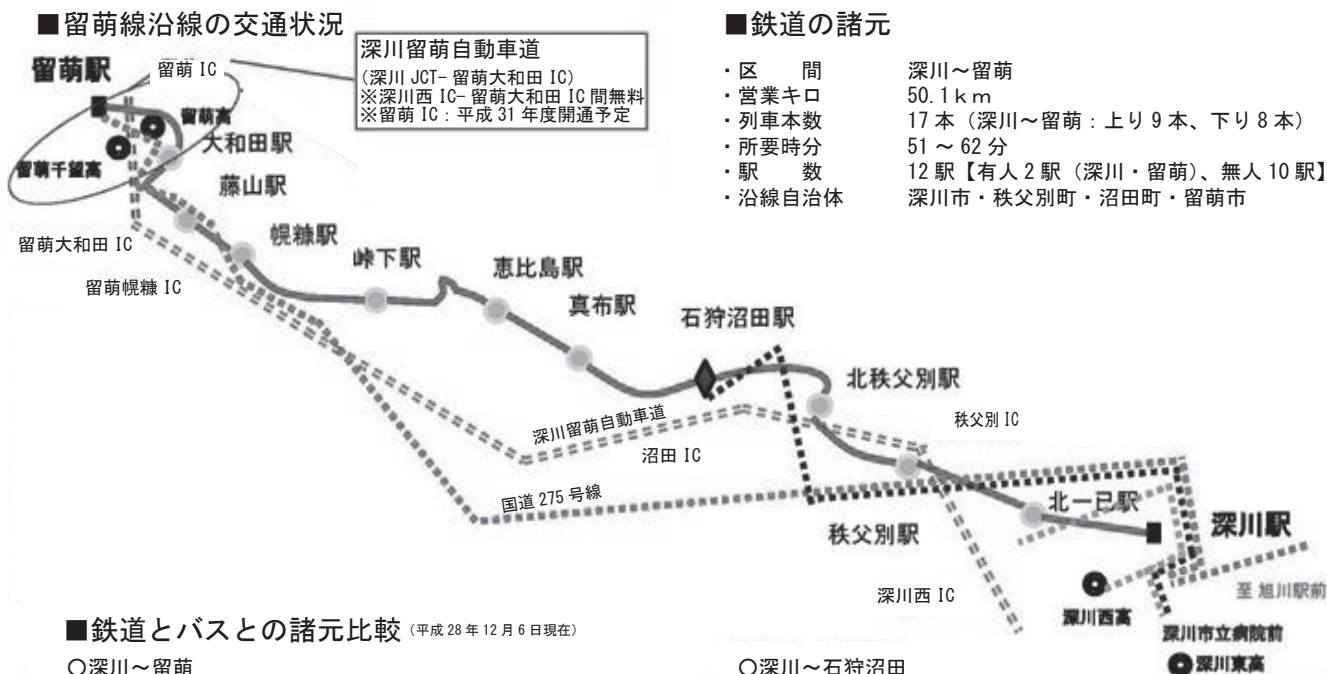
JR北海道 からの提案

平成28年11月28日 JR北海道より、留萌本線のバス転換等の提案がありました。

◆提案内容

JR 留萌本線は、極端に利用が少ない路線であり、運営赤字が毎年6億8千3百万円に及ぶほか、運営赤字のとは別に老朽土木構造物の維持更新費用として今後20年間で30億円程度が必要となる。鉄道よりも他の交通手段が適しており、持続可能な交通体系とするためにバス等への転換について地域の皆様とご相談を開始したいとの内容でした。(以下 JR 北海道提供資料)

◆留萌本線沿線の概況



■鉄道とバスとの諸元比較 (平成28年12月6日現在)

○深川～留萌

		JR北海道	沿岸・道北バス
距離		50.1km	50.2km
運行本数(上下)		17本	20本
所要時間		51～62分	63～69分
運賃	片道普通	(深川・留萌) 1,070円	(深川十字街・留萌駅前) 1,080円
	通学定期 (高校生)	1ヶ月: 14,110円	1ヶ月: 33,600円
		3ヶ月: 40,250円	3ヶ月: 95,760円
		6ヶ月: 76,250円	

○深川～石狩沼田

		JR北海道	空知中央バス
距離		14.4km	17.1km
運行本数(上下)		17本	18本(土休日10本)
所要時間		12～20分	27～29分
運賃	片道普通	(深川・石狩沼田) 260円	(深川十字街・沼田駅前) 490円
	通学定期 (高校生)	1ヶ月: 6,900円	1ヶ月: 17,280円
		3ヶ月: 19,690円	3ヶ月: 49,250円
		6ヶ月: 36,030円	

北空知

1市4町

北空知1市4町ではJRからの提案後、北空知JR留萌本線問題検討会議を立ち上げております。この会議は1市4町、JA北いぶき、JAきたそらち、各議会、各商工会で構成され、留萌線廃線には反対の立場から道や国への要望を実施するとともに、利用促進策の検討をしています。

沼田町

の状況

①石狩沼田駅での乗降調査を実施

石狩沼田駅で1週間乗降調査を5月から6月に実施した結果、深川方面へ1日平均76.7人が乗車されていました、そのうち72%が高校生で、ほぼ全ての高校生が通学で利用されています。留萌方面へは1日平均1.1人の乗車でした。

期間	行先	乗車人数				降車人数			
		学生	一般	高校生	計	学生	一般	高校生	計
1週間合計	深川行	387	94	56	537	0	4	6	10
	留萌行	0	5	3	8	349	83	64	496
1日平均	深川行	55.3	13.4	8	76.7	0	0.6	0.9	1.5
	留萌行	0	0.7	0.4	1.1	49.9	11.9	9.1	70.9
1便平均	深川行	6.1	1.5	0.9	8.5	0	0.1	0.1	0.2
	留萌行	0	0.1	0.1	0.2	6.2	1.5	1.1	8.8

※上記の他、恵比島駅と真布駅では高校生各3名の計6名の高校生が通学に利用しています。

②各高校での説明会の実施

深川西高校、深川東高校、滝川高校、滝川西高校において7月に説明会を開催し、意見交換を行いました。

【高校生からの意見等】

- ・帰りの交通手段は、1時間に1便程度ほしい。
- ・朝の便は座れない人がいるので、増便してほしい。
- ・バス転換になった場合乗車時間が長いため、朝早く出なければいけない。
- ・バスの場合、定期代が高いため、親の負担が大変。
- ・朝、通学時の普通列車が1便の為、函館線のダイヤ改正も視野に入れてほしい。
- ・滝川～沼田間の直通バスを運行できないか。

③沼田小・中学生の保護者に対する説明会の実施

沼田小・中学生の保護者に対して7月に説明会を開催し、意見交換を行いました。

【説明会時の保護者からの意見等】

- ・バス転換の場合、定期代が高くなるため、経済的に不安、助成はあるのか。
- ・JRはもうあきらめて、沼田独自の運行をしてはどうか。
- ・バスの運行時間や本数が今のままでは通学に支障がある。
- ・今のバスの運行だと、滝川や旭川の通学対応ができないので考えてほしい。

④ 高校生、小学生以上の保護者、一般利用者へのアンケート調査の実施

高校生、小学生以上の保護者、一般利用者へのアンケート調査を8月に実施しました。代表的な意見等をご紹介します。(246名発送、うち189名回答、回答率76.8%)

【一般利用者からの意見等】

- ・廃線になると過疎化の進行が心配。
- ・町外の病院に家族が入院した場合JRは必要。
- ・われわれ大学生にとっては必要。
- ・通院はバスで行きます。

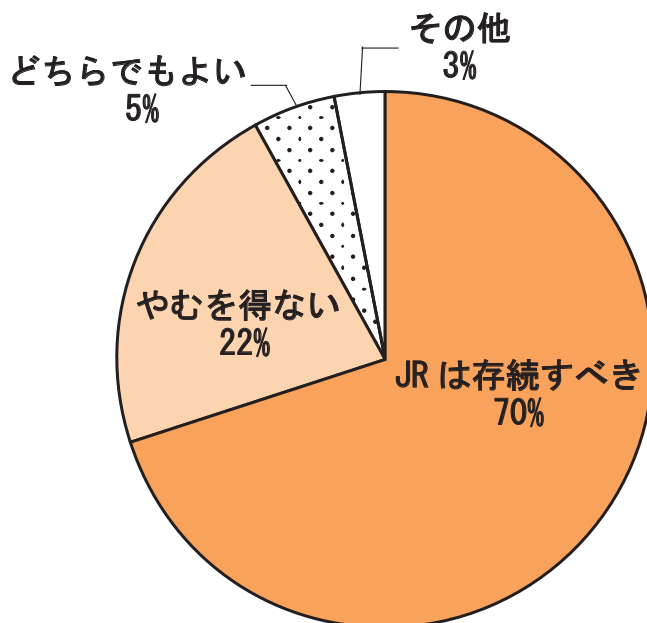
【高校生、小学生以上の保護者からの意見等】

- ・函館本線の普通列車の増便をしてほしい。
- ・留萌本線の帰宅便の増便(17:00、21:00)をしてほしい。
- ・通学便はバスの停留所を無くし、乗車時間を短縮してほしい。
- ・バスの場合、通学がJRより不便にならないように検討してほしい。
- ・通学手段がなく子供の可能性が狭められることの無いように検討してほしい。
- ・朝夕の2便は町営バスを、運行出来ないか。
- ・バス運賃の値下げ又は定期代値上がり分の補助をしてほしい。
- ・深川までの町営バス運行を検討してほしい。
- ・高校生の通学時にも、町内運行のスクールや予約制バスの様な低料金なバスが必要。
- ・各町村で協力してJRを維持してほしい。
- ・沼田～深川間のみ存続しては。
- ・JRがもっと具体的な改善案を出すべき。
- ・高齢者の通院にも配慮してほしい。
- ・沼田か、留萌に大規模観光施設を建設してはどうか。
- ・マイカー世代なので、利用しづらいバスならば両方いらない。

【質問】 JR留萌本線のバス転換についてどう思われますか。



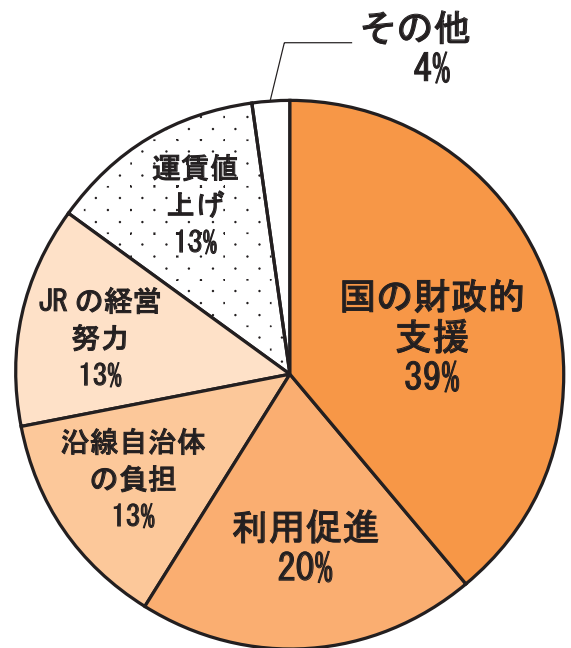
全体の集計では「JRは存続すべき」との意見が70%、「やむを得ない」が22パーセントとJR存続への意向が強い結果となりました。



【質問】もしJR留萌本線がバス転換になった場合、鉄道と比較して心配なことはなんですか。



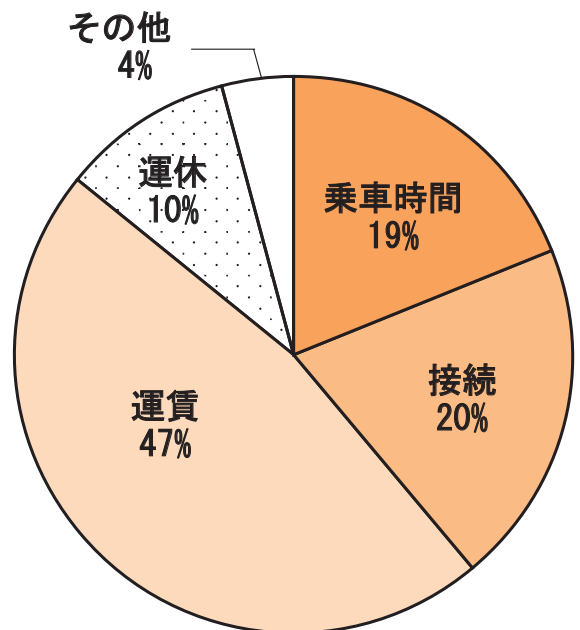
全体の集計では「運賃が心配だ」との意見が47%と多く、続いて「函館本線への接続」や「バスの乗降時間が長い事が心配」という結果となりました。



【質問】JR留萌本線存続のために必要なことは何だとお考えですか。



全体の集計では「国の財政的支援が必要だ」との意見が39%、「利用促進が必要だ」との意見が20パーセント、「続いて沿線自治体の負担、JRの経営努力」、「運賃値上げが必要だ」という結果となりました。



代表的な意見等を記載しております。他の意見についてのお問い合わせは下記担当までお問い合わせください。

今月号は留萌本線に関する現在までの状況をお伝えしました。今後も引き続き留萌本線に関する情報についてお知らせしていきます。

担当：政策推進室 【電話 35-2155】

第19回明日萌の里 フォトコンテスト入賞作品



最優秀賞

「燃ゆる夜高」 沼田 信廣 (美唄市)

審査員講評

「明日萌の里フォトコンテスト」受賞者の皆様、大変おめでとうございます。

今回で19回目の開催となった当フォトコンテストですが、今年も応募数で昨年を上回り、写真に対する関心の高さや本コンテストの認知度の高さを示す結果となったことは大変喜ばしいことと思います。

「明日萌の里フォトコンテスト」の審査は私は今回で3回目となりますが、やはり夜高あんどんの作品が多くエントリーされておりました。

これは大変喜ばしいことなのですが、全体的に今回はおとなしい印象を受けました。

皆さんそれぞれに良いシャッターチャンスで捉えていて、色調もかなり綺麗に仕上げているのですが、以前入賞した作品に似たような仕上がりになっていたのが気になりました。鑑賞するにはそれで良いのですが、コンテストとなるとなかなか上位には入りません。

多くの作品の中からですと、かなり個性がないと目に止まりにくいからです。派手な作品をというわけではありません。心で感じとったものを映像化するという事です。心で感じとった写真は必ず審査員の心をつかむと思っています。

最優秀賞に選ばれた沼田信廣さんの作品「燃ゆる夜高」は、今までにない表現をしていて目に止まりました。ほのぼのとした内容ですが、お祭りというテーマをしっかりと画面の中に昇華させていると思いました。

優秀賞の2作品も甲乙付けがたい、完成度の高い作品です。

梅澤勇二さんの「大雪山を仰ぐ」は、沼田町全体を風景写真としてしっかり表現されていましたし、同じく優秀賞のベテランである佐藤 圭さんの作品「出陣の刻」はレンズの特性を最大限に引き出し、手慣れた撮り方をしていると思いました。

入選5作品、奨励賞10作品も秀作揃いでした。

前回も書きましたがコンテストは入賞点数に限りがあり、最終的に何名かに限定しなければならないのが非常に心苦しく思っていますが致し方ありません。

来年の夜高あんどんは42回目を迎えます。来年もまた沢山のあんどん祭りの作品が出品されると思いますが、もう少し冒険をしてみるということがあっても良いのではないのでしょうか。自分の目と心で写し撮って下さい。

次回も皆様からの力作を期待しております。

最後になりますが、19回と長年開催を重ねられている主催者と関係者の皆様のご努力に敬意を表しますと共に、改めて受賞者の皆様に心よりお祝い申し上げます。

2017年11月3日

「明日萌の里フォトコンテスト」審査員代表 写真家 菊地 晴夫



優秀賞 「大雪山を仰ぐ」梅澤勇二（札幌市）



優秀賞 「出陣の刻」佐藤 圭（留萌市）



入選 「夢の跡」石丸 雄理（札幌市）



入選 「戦い2」今井 昌（札幌市）



入選 「旭陽」佐々木正明（北広島市）



入選 「高まる鼓動」沼田 信廣（美唄市）



入選 「雨中合戦」野 佳昭（沼田町）

今年も沢山のご応募ありがとうございました。

ポッカサッポロ北海道株式会社から

清涼飲料水の寄贈

10/17

ポッカサッポロ北海道株式会社（山本隆二代表取締役社長）から認定こども園、沼田小学校、沼田中学校に清涼飲料水の寄贈が行われました。

これは、ポッカサッポロ北海道株式会社が、夜高あんどん祭りで頑張っていた子どもたちの姿を見て、激励をしたいとの思いから4年連続で寄贈していただいております。

山本社長は「この活動を始めて4年が経過し、皆さんに会えるのを毎年楽しみにしています。人と人の絆を大切に、これからも勉強に運動に夜高あんどん祭りに頑張ってください。」と園児・児童・生徒にエールを贈って下さいました。



命の大切さを学ぶ

B&G 海を守る植樹教育事業

「植樹祭」～ほたるの森づくり～

10/21

雨竜川総合運動公園町民球場裏の町有地で B&G 海を守る植樹教育事業「植樹祭」～ほたるの森づくり～が行われ、約400本の苗木が植樹されました。

この植樹祭は、環境教育・防災教育の一環として、B&G 財団よりご支援いただき、「どぐりの苗」など沼田町にもともと植生している「ふるさとの木」を植樹するものです。

開会式では、栗中副町長が「今回、沼田町で初めて植樹祭が行われます。自然環境は自分たちで守る、ということを中心に留めなければなりません。今日の植樹祭がその契機となればと思います。」と挨拶しました。B&G 財団の菅原理事長は「沼田町は自然が豊かで食べ物も美味しい。参加者のみなさんには、これからも沼田町に住んでもらって、今回植えた木を将来自分の子どもと見に来てほしいと思います。」と話されました。

その後、苗木の植え方の説明があり、立派に育つことを願いながら、苗木を一本一本丁寧に植えました。



沼田小学校5年生が

脱穀・粃摺り体験

10/26

沼田小学校（疋田博和校長）の5年生がJA北いぶき沼田の青年部員や、JA北いぶき職員の指導のもと「脱穀機」と「粃摺り器」を使って、自分たちで田植えと稲刈りを行った稲の脱穀と粃摺りを行いました。

児童たちは、あいにくの天気で肌寒い中、一生懸命に取り組んでいました。

今年の農業体験学習は今回で終了となりますが、児童たちは、単に米作りの学習だけではなく、たくさんの手間暇が掛かって自分たちが食べるお米になっていることを感じ、お米の大切さを学びました。



沼田小・中学校が

第32回時事通信社「教育奨励賞」努力賞受賞

10/27

沼田小・中学校の両校が第32回時事通信社「教育奨励賞」努力賞を受賞しました。

時事通信社「教育奨励賞」は、創造性に富んだ特色のある教育の実践に顕著な実績を上げた学校を表彰し、学校教育の一層の充実を図ってもらうことを狙い毎年開催されているもので、本町の地域社会に根ざした小中一貫連携教育が評価され、今回の受賞となりました。



▲左から沼田小学校疋田校長 沼田中学校小川校長

沼田吹ガールズ5周年記念イベント

ブラックボトムブラスバンドと ハロウィンコンサート

10/28

町民会館にて、沼田吹ガールズ5周年記念イベント 沼田町音楽祭「ブラックボトムブラスバンドとハロウィンコンサート」が開催されました。

今回のイベントには、沼田小学校スクールバンド・沼田中学校の吹奏楽部や美唄市の「ピパトロンボーンアンサンブル」の皆さんも参加し、色々な仮装に身を包み、見ても楽しい、聞いても楽しいコンサートに会場は大いに盛り上がりました。



▲ラストは全員で共演して大演奏会で締めくくりました。

ここは別世界 ハロウィンイベント

10/28

「まちなかほっとタウン」で、ゆきものがかり（藤村健一会長）主催のハロウィンイベントが開催され、町内外から大勢のお客さんが訪れ賑わいました。

会場には、かぼちゃをくりぬいたり、マジックで絵を描いたものや、シールを張ったもの等ユニークなハロウィンかぼちゃが飾られたほか、仮装した参加者や特殊メイクを受けられるコーナーや、商工会の協力により、子供たちが訪れるとお菓子を配り商店を紹介する「街ブラ事業」も行われ、会場に訪れた人々を楽しませていました。



▲力作揃いのかぼちゃが並べられました。



▲「わ!!」頭がない! びっくりするような仮装をする参加者もいました。



▲「街ブラ事業」では、協力店に訪れた子供たちにお菓子が配られました。

園児と一緒に笑いで健康に

高齢者元気100倍! 教室

11/2

空知管内で広く活動している”ドラムサークル”松川敦子氏を招いて「笑いヨガとドラムサークルでみんな交流」が認定こども園で、3歳～4歳児32名と「高齢者元気100倍教室」に通う17名が参加して行われました。

両手の指を使って準備体操を行った後、カラフルな布やドラムを使って世代を超えた笑顔溢れる交流が行われました。

参加された方は「園児皆さんの笑顔を見ると、気持ちが暖かくなり、自然と笑顔になる。笑って楽しく過ごせる時間となりました。」と笑顔で話されました。



芸術の秋！

町民芸術祭

11
/3

町民会館にて、町民芸術祭（同実行委員会主催）が開催されました。ホールには、子供たちの絵や書道の作品、陶芸クラブの作品などが展示されました。今年から先月オープンした「沼田町暮らしの安心センター」にも展示され、出展者の力作が披露されました。

また、講堂で行われた芸能発表会では約150名の皆さんが出演し、第一部では小学校スクールバンド、中学校吹奏楽部や沼田吹ガールズの演奏のほか、明日萌の里フォトコンテストの表彰式が行われました。

第二部ではヒップホップダンスやピアノ、オルガン、大正琴、太鼓の演奏やおわら踊り、剣詩舞のほか、詩吟やコーラスなどの歌声も披露され、終日多くのお客さんが会場を訪れていました。



▲沼田小学校スクールバンドによる演奏



▲吟剣詩舞 和翔流による「敷島の」



▲沼田詩吟道場による「俳句吟 奥の細道より」



▲沼田夜高太鼓による力強い鼓舞



▲沼田箏秀会による「祭りの太鼓」



▲（社）N-link. のヒップホップ、9名の子ども達が軽やかにダンスを披露

交通事故死撲滅を願い

交通安全町民大会

11/3

交通事故のない安心なまちを目指して、約300名の参加のもと町民会館で沼田町交通安全町民大会が開催されました。

大会では、交通安全標語、高齢者川柳の表彰式が行われました。表彰式後行われた深川警察署 小竹交通課長からの交通安全講話では「これからの季節、夕暮れが早くなり、歩行者による交通事故が多くなります。夜光反射材を身につけるなど、車両に自分の存在を知らせるなど、事故防止に努めて下さい。」と話され、最後に沼田町商工会青年部 岩村勇部長から交通安全宣言が力強く宣言され、交通安全意識を高めました。

また、パトカーなどの展示や、反射神経を判断するアトラクションも用意され、来場された方は様々な体験を楽しみました。



食物への感謝を

いただきファームの開催

11/7

沼田小学校（疋田博和校長）で食育授業として、「いただきファーム」が行われました。

この「いただきファーム」は北いぶき農業協同組合青年部沼田支部（高橋政輝支部長）が小学校児童に食べ物の大切さや食に興味をもってもらうことを目的に開催し、今年で6回目を迎えます。

高橋政輝支部長から「今の6年生が1年生の時に初めて行ない6年目を迎えました。食べ物の大切さを学んで、いっぱい食べて大きく成長して下さい。」と挨拶しました。

その後、1年生から6年生の全児童が4つのグループに分かれて杵と臼を使って昔ながらの餅つきが行われ、杵を初めて使う児童が多く、悪戦苦闘してましたが、もっちもっちのお餅が出来上がりました。出来上がったお餅は、きな粉餅などにして、美味しくいただきました。



▲青年部のお兄さんが各グループを回り食に関してのお話をされました。

北海道電力からのお願い

○今冬は、電力の安定供給に最低限必要な供給予備力3%以上を確保できる見通しですが、お客様におかれましては、引き続き「無理のない範囲での節電」にご協力いただきますようお願い致します。

○詳しくは、ほくでんホームページをご覧ください。

ほくでん節電

検索

新規採用職員の紹介

10月と11月から沼田町役場で勤務しています2名の新規採用職員を紹介します。

10月1日
採用職員

あさの
浅野
りょう
稜



所 属：建設課技術グループ（技師）
出身地：深川市
趣 味：バドミントン
抱 負：沼田町に来る前は、造園土木施工管理の会社に勤めてました。上司や同僚の方々の一つ一つ教えていただきながら日々勉強の毎日です。早く皆様の力になりお役に立つよう頑張ります。
よろしくをお願いします。

11月1日
採用職員

みなもと
源
あやめ
綾芽



所 属：農業商工課農業総合対策室
食の研究員（栄養士）兼
保健福祉課健康グループ
出身地：雨竜町
趣 味：音楽鑑賞・スポーツ
抱 負：食という媒体を通しておいしく楽しいことを企画し、具現化していければと思っています。町民の皆様から地域についてたくさん学び邁進します。新たな魅力の発見・町の活性化に繋がるように努めていきますので、よろしくをお願いします。

みんなの情報 ひろば



災害復興支援チャリティー

「第6回 おんがくの集い」

出演者募集!!

「音楽の力で子供たちに笑顔を！」歌唱、踊り、楽器演奏などで出演して下さる方を募集しています！

締切りは12月3日（日）、お申込等は下記までご連絡下さい。

- 日 時 平成30年 3月10日（土）13：30～
- 場 所 沼田町民会館
- お申込・お問合せ先 実行委員会事務局 菅原
Tel 090-1521-8392

「みんなの情報広場」では、町内で活動している各種団体・サークル活動を支援することを目的として、会員の募集や広く全町民を対象とした行事の案内等を広報ぬまたに掲載しますので、是非ご利用下さい。

※掲載のお問合せは、総務財政課 広報情報グループ（Tel 35-2111）までご連絡下さい。

ぎゃくたい

虐待って？ 高齢者・児童・障がい者への虐待**○虐待は、自覚も無しに行ってしまうこともあります。**

虐待を行っている養護者（家族など）、介護施設などの福祉施設従事者等、使用者（障がい者の雇用主等）は、虐待に関する知識や気持ちに余裕がなかったり、感覚が麻痺してしまったりして、自分が虐待を行っているという自覚が無い場合があります。

○虐待の防止は、早期の発見と相談が重要です。

虐待は周囲には見えにくいものです。また、他者が口を出しにくいということもあります。しかし、虐待を止めることは、虐待を受けている高齢者・児童・障がい者はもちろん、虐待を行っている養護者などにとっても、絶対に必要なことです。特に虐待を受けている本人の生命や身体に重大な危険がある場合には、気づいた人には通報する義務があります。（通報者の秘密は守られます！）

**○虐待（受けている）かも？と思ったら、まず相談を！**

虐待を発見したり虐待を受けた場合には、虐待の種類に応じてそれぞれの担当する機関に相談や助けを求めてください！

○高齢者虐待に関する通報先・相談先

通報先	保健福祉課（地域包括支援センター）	電話 35-2120
相談先	保健福祉課（地域包括支援センター）	電話 35-2120
	北海道高齢者総合相談虐待防止センター	電話 011-251-2525
	常設人権相談所（全国共通ナビダイヤル）	電話 0570-003-110
	担当の介護支援専門員・医師・保健師・弁護士 など	

○児童虐待に関する通報先・相談先

	役場保健福祉課	電話 35-2120
	児童相談所（全国共通ダイヤル）	電話 189(子供110)
	全国子育て・虐待防止ホットライン	電話 0570-011-077

○障がい者虐待に関する通報先・相談先

	役場保健福祉課	電話 35-2120
	北海道障がい者権利擁護センター	電話 011-231-8617

介護や子育て、障がい者支援に熱心であればあるほど、虐待が生じる可能性があります。困ったことがあればお気軽にご相談ください。

※この記事に関するお問合せ先 役場保健福祉課（福祉グループ） 電話 35-2120

このようなことが虐待にあたります！！

＜養護者（家族など）や福祉施設従事者等、使用者（障がい者の雇用主等）が行う行為＞

身体的虐待

殴る、つねる、蹴る、投げ落とす、激しく揺さぶる、ベッドに縛り付ける、やけど・打撲を負わせる、おぼれさせる、意図的に薬を過剰に服用させ身体拘束・抑制をする、無理矢理食事を口に入れる など



心理的虐待

怒鳴る、ののしる、悪口を言う、言葉による脅し、無視、兄弟間での差別的扱い、子供の目の前で家族に対して暴力をふるう（ドメスティック・バイオレンス：DV） など



放棄・放任 (ネグレクト)

家に閉じ込める、食事を与えない、ひどく不潔にする、自動車の中に放置する、重い病気になっても病院に連れて行かない、劣悪な環境で生活させる、長時間の脱水や栄養失調状態 など

高齢者への虐待 児童への虐待 障がい者への虐待



性的虐待

子どもへの性的行為・性的行為を見せる・ポルノグラフィの被写体にする、排泄の失敗に対する罰として下半身を裸にして放置する、わいせつな行為をしたり強要する など



経済的虐待

生活費を渡さない・使わせない、自宅等を本人に無断で売る、年金や貯金を本人の意志や利益に反して使用する など



飲酒運転の根絶

～気のゆるみ 一杯だけが 命とり～

【飲酒運転は悪質な犯罪！】

飲酒運転は、悲惨な交通事故を引き起こす悪質、危険な運転行為です。

お酒を飲むとわずかな量でも運転に大きな影響を及ぼし、重大事故を起こす可能性が高まります。

平成 27 年 12 月 1 日施行「北海道飲酒運転の根絶に関する条例」に基づき、道民一人ひとりが飲酒運転の根絶に向けて「飲酒運転をしない、させない、許さない」を合言葉に、地域全体で飲酒運転根絶の気運を高めましょう。

【飲酒運転は、運転者以外も処罰の対象！】

飲酒運転は、運転者だけではなく、周りの人にも重い処罰があることを知っていますか。

車を運転するおそれのある人にお酒を提供したり、お酒を飲んでいる人に車を提供したり、飲酒運転の車に同乗すると、たとえお酒を飲んでいなくても処罰の対象になります。

【「ハンドルキーパー運動」で飲酒運転を防止！】

ハンドルキーパー運動とは、仲間と車で飲食店に行く場合、あらかじめお酒を飲まない人（ハンドルキーパー）を決め、その人が仲間を自宅まで送り届けることです。

お酒を提供するお店の方は、「お客さんが車で来店していないか」、「車で来店している場合は、ハンドルキーパーは誰なのか」を確認して、飲酒運転を防止しましょう。



【飲酒運転情報の提供を！】

北海道警察では、悪質な飲酒運転を根絶する目的で、「飲酒運転ゼロボックス」を運用しています。

「今まさに、飲酒運転をしそう！している！」などの情報を受付しています。皆さんの周囲の人が飲酒運転による交通事故の被害に遭わないように、ぜひ飲酒運転に関する情報、または飲酒運転根絶に向けたアイデアを積極的にお寄せ下さい。ただし、緊急性のあるものは、110番通報または最寄りの警察署へ連絡して下さい。

情報提供者のプライバシーは守ります。

情報の提供は、右のQRコードから「北海道警察飲酒運転根絶サイト」にアクセスされ「飲酒運転の情報提供はこちら」からも情報を提供することができます。



犯罪の発生状況 (平成 29 年 9 月末現在)

	空き巣	事務所 荒し	出店荒し	万引き	鉄板盗	自動車・ オートバイ盗	自転車盗	車上狙い	部品 ねらい	詐欺	軽油 灯油盗	その他	合計
平成 29 年			1									3	4
平成 28 年				1			1	1	1			6	10

交通事故の発生状況 (平成 29 年 9 月末現在)

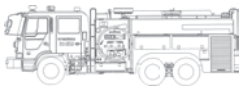
町内における交通事故件数

	人身事故	物損事故
平成 29 年	2	平成 29 年 3 6
平成 28 年	1	平成 28 年 4 1

町民が町外で第 1 当事者と
なった人身事故件数

平成 29 年	1
平成 28 年	1

※先月号のこの欄で（平成 29 年 9 月末）と掲載しておりましたが、（平成 29 年 8 月末）の誤りでした。訂正しお詫び申し上げます。



「やけど」にご注意を！

これからの時期は、暖房器具などを使用する機会が増えることから、「やけど」等が多くなりますので注意するように心がけましょう！

★もし「やけど」をしてしまったら！？



すぐに水で冷やす



※カイロなどの低温やけどにも注意しましょう！！



《応急処置のポイント》

- ・痛みが無くなるまで15分～30分くらい冷やしましょう！
 - ・水ぶくれは破らない！
 - ・衣類は無理に脱がさずに、上から水をかけて冷やしましょう！
 - ・救急車を呼ぶ必要がある場合はすぐに119番通報して、到着するまでそのまま冷やし続けてください。
- ※広範囲を長時間冷やすと、低体温になるおそれがあるので冷やし過ぎに注意しましょう！

いざという時に役立つ知識（救急通報時）

119番通報すると、通信員が救急車の出動に必要なことを、順番にお伺いします。あわてず、はっきりとお答えください！



火事ですか、救急ですか？
場所はどこですか？
どうしましたか？
お名前と年齢を教えてください
あなたの名前と今かけている電話番号を教えてください



救急です！
〇〇町〇〇条〇〇丁目〇〇番地です！
父親が、胸が痛くて倒れました！
〇×△□です。〇〇歳です
私の名前は〇〇〇〇です！
35-〇〇〇〇〇〇です！

わかりました！出動します！！

※上記に示したものは一般的な聞き取り内容です。その他詳しい状況、持病、かかりつけ病院等について尋ねられることがあります。答えられる範囲でお伝えください。

大切な家族や財産を守るため、住宅用火災警報器を設置しましょう。

沼田町
防火標語

『後にしよう その油断が 火事になる』



合宿通学

ゆめつくる



◆ 地域の方々と一緒に食事づくり



合宿通学実行委員会（平泉真美実行委員長）が、町内の小学4年生～6年生を対象に、10月23日（月）～28日（土）の6日間、宿泊交流センター「夢未来」において合宿通学を実施し、小学生11名（4年生2名、5年生2名、6年生7名）が参加しました。

合宿通学は、親元から離れて共同生活をする機会を提供し、衣食住に関する基本的な生活習慣の定着、お互いの立場や役割を理解し協力し合って生活することをねらいに毎年実施しているものです。

合宿通学の運営には毎年北翔大学に協力をいただいておりますが、更に今年は、町内のお母さん方のボランティア「ぬま link（代表：沼本綾氏）」にもご協力いただき、朝晩の食事作りをして頂きました。



▲北翔大学のお兄さんお姉さんと登校

合宿通学中、子ども達は「ぬま link」の方々に料理を教してもらいながら一緒に食事作りをすることで、「親への感謝」を強く感じていました。

また、助け合いながら規則正しく共同生活を送ることで「みんなと一緒にいる楽しさ」も感じていました。

他にも、「家庭学習」や「朝の10分間読書」に毎日取り組み、特に「家庭学習」では、「学年×10分+10分」という目標時間を設定し、北翔大学の学生の方々に教えてもらいながら真剣に勉強に励んでいました。

最終日の朝、地域の方々に支えられて、5泊6日の合宿通学を無事終える子ども達から「ぬま link」の皆様へ感謝の気持ちを綴った手紙が渡されました。

子ども達は合宿通学を通して、「たくさんの方々に支えられていること」、「感謝の気持ちを伝えることの大切さ」を学びました。合宿通学を優しく見守って下さいました地域の皆様、ありがとうございました。



▲わかりやすく教えてくれました。

○教育委員会「ブログ」随時更新中○

URL: <http://blog.canpan.info/numakyoui/>

教育委員会事業を掲載しております。

こちらをご覧ください。



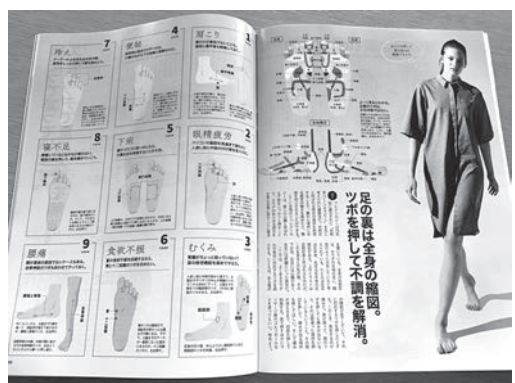
だんだんと寒くなり、これから家にいることが多くなってく季節がやって来ます。そこで今回は、家の中でもできる運動やマッサージなどが載っている本を紹介します。

まず紹介するのは雑誌「Tarzan（ターザン）」です。体づくりを中心とした雑誌ですが、ストレッチやダイエットについても載っていたりします。

次に紹介するのは「家庭でできるリハビリとマッサージ」です。二人一組で行うマッサージから、一人でできるマッサージ、座りながら筋力をつける方法などが載っています。文字が大きくイラストも多い読みやすい本です。

本に載っている運動は器具などを使わないものばかりですが、もし運動器具を使って運動したいという方は、先月オープンした“沼田町暮らしの安心センター”内に運動器具がありますので、是非、足を運んでみてください。

今回紹介した本以外にも、図書館には運動についての本がたくさんあります。運動不足になってしまう冬期間に、図書館の本や“暮らしの安心センター”にある運動器具を使って健康な体を作りましょう。



新刊図書

《一般書》

長いお別れ	中島 京子
マイ・ディア・ポリスマン	小路 幸也
真夏の雷管	佐々木 譲
大遺言	永 拓実
父よ、ロング・グッドバイ	盛田 隆二
嵯峨野花譜	葉室 麟
老いへの「ケジメ」	斎藤 茂太
バブルノタシナミ	阿川 佐和子
ときどき旅に出るカフェ	近藤 史恵
北海道パークゴルフ場ガイド 2017-18	

北海道新聞社

ミツバチの教科書

フォーガス・チャドウィック

《児童書》

NO. 6 #7~#9	あさの あつこ
都会のトム & ソーヤ	13巻、14巻
おちゃわんかぞく	はやみね かおる
なきごえバス	いぬんこ
くらべっこしましょ!	えがしら みちこ
見上げた空は青かった	松田 奈那子
レッツゴーおべんとう!	小手鞠 るい
	わたなべ あや

新刊図書おすすめ!!

『マスカレード・ナイト』 東野 圭吾



若い女性が殺害された不可解な事件。警視庁に届いた一通の密告状。犯人は、コルテシア東京のカウントダウンパーティーに姿を現す!? あのホテルウーマンと刑事のコンビ、再び。

『世界の乗りもの大図鑑』
クライブ・ギフォード



カッコいい! 乗ってみたい!
900種の乗りものが大集合。楽しみながら学べる乗りものペディア! 陸海空、原始時代から最新テクノロジーまで、世界中の乗りもの115テーマを網羅。

家から図書館の本を検索しよう

図書館にある本をインターネットで検索できるようになっています。検索は、沼田町教育委員会のブログのリンク集からどうぞ。

<http://blog.canpan.info/numakyoui/>

社会福祉基金へのご寄付ありがとうございました。

吉住淳男氏(本通3丁目)から、50万円のご寄付をいただきました。

吉住氏のご意向により社会福祉の向上の為、有効かつ適切にご活用させていただきます。

ありがとうございました。



町営高穂スキー場用地のご寄付ありがとうございました。

吉田好宏氏(高穂2)より、スキー場用地としてお借りしておりました土地(リフト西側約7,400㎡)をご寄付いただきました。深く感謝申し上げます。

なお、今年の高穂スキー場は、12月23日(土)オープン予定です。冬場の運動不足解消に是非ご利用下さい!

人の動き

(平成29年10月31日現在)

人口	3,157人	(前月比)	3人)
男性	1,497人	(前月比)	5人)
女性	1,660人	(前月比)	△2人)

世帯数 1,522世帯 (前月比 3世帯)

■総人口増減内訳

増加) 転入: 11人 出生: 1人
減少) 転出: 5人 死亡: 4人

交通事故死ゼロ

(平成29年11月24日現在)

1,965日継続中!!

うぶごえ

出生児 誕生月日 両親の名前
福岡日菜多ちゃん 8月24日 宏太さん・佳子さん

おくやみ

氏名	死亡月日	年齢	住所
加葉田美枝子さん	11月1日	69歳	共成
宮下繁子さん	11月1日	91歳	旭町東

Cover

—表紙の写真—



JA 北いぶき沼田青年部主催のいただきファームでの一コマです。力強く杵で餅つきをしていました。

【11月 7日撮影】

広報情報グループ (森田)

広報担当のつぶやき

町の広報誌は年間10回発行されます。その10回の中で、今月号が一番発行しづらい号だと感じてます。

なぜかと言いますと、毎年この月の広報誌には「明日萌の里フォトコンテスト」の受賞者の写真を掲載しているからです!

フォトコンテスト受賞者の写真はどれも素晴らしい写真ばかりです。その中で、紙面は違いますが、素人同然の私の写真が載っているのです。同じページに載らないのがせめてもの救いです。

記事の内容は、広報作成時に修正ができますが、写真の撮り直しは出来ないところが辛いところです。

フォトコンテスト受賞者には及びませんが、近づけるように工夫して撮ってみようと思えます。